

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス バディ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性やニーズを踏まえたアセスメントを行い、個別支援計画に基づく支援が実施できている。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なモニタリングと計画見直し 支援前後の職員間打ち合わせ 日々の記録共有によるPDCAの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の具体例を保護者へより分かりやすく説明 支援成果の「見える化」の工夫
2	送迎時や連絡帳、面談を通じて日常的な情報共有ができています。	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画説明時の丁寧な同意取得 相談受付体制の明確化 迅速な事故・体調報告 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けミニ講座や交流会の実施 防災訓練や安全対策の周知強化
3	各種マニュアル整備と定期訓練を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット共有 BCP策定 服薬・アレルギー確認体制 	<ul style="list-style-type: none"> 訓練実施内容の保護者への情報公開 チェック体制の明文化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの確保や静養空間の充実について一部課題が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数と空間面積の制約 活動内容の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> パーティション活用による空間再構成 グループ分けによる活動分散 家具配置の見直し
2	地域機関や他事業所との交流機会が十分とは言えない。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の運営優先による外部連携時間の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントへの参加 近隣事業所との情報交換機会の設定 児童発達支援センターとの連携強化
3	保護者向け支援プログラムや交流機会の拡充が課題。	<ul style="list-style-type: none"> 開催機会の計画不足 周知方法の限定性 	<ul style="list-style-type: none"> 年数回の保護者勉強会実施 オンライン配信等の活用 相談支援体制のさらなる明確化